

FSV-MGR01

リモートメンテナンス VPN 設定マニュアル

Ver. 1.0



1 はじめに	3
1.1 本マニュアルに関して	3
1.2 注意事項	3
2 リモートメンテナンス VPN 設定手順	4
2.1 PacketiX VPN クライアントのインストール	5
2.2 PacketiX VPN クライアント接続設定	8
2.3 インターフェイスメトリック設定	10
2.4 IP アドレスの設定	13
2.4.1 DHCP で運用する場合	13
2.4.2 固定 IP を設定する場合	13
3 トラブルシューティング	14
3.1 リモートから VPN に接続できない場合	14

1 はじめに

1.1 本マニュアルに関して

本マニュアルはネットワーク機器統合管理システム「FSV-MGR01」(以下、本システム)において、リモートメンテナンス VPN を利用するにあたり必要となる設定について説明します。

本システムのバージョンは予告なく変更される事がありますので、ご使用になるバージョンにご注意ください。

本書 Ver	FSV-MGR01 ソフトウェアバージョン
1.0	1.2.*

※ 「*」はパッチバージョンの数字が入ります。

1.2 注意事項

本マニュアルの記載内容は、改訂等により予告なく変更される場合があります。

本マニュアルに記載された内容のご使用に関して、第三者が所有する知的財産権その他の権利侵害や損害発生に対し、当社は責任を保証するものではありません。

本マニュアルに記載の内容を弊社に無断で転載または複製することを禁止します。

2 リモートメンテナンス VPN 設定手順

本システムのリモートメンテナンス VPN を利用することで、本システムが設置されたネットワーク内の機器に遠隔からアクセスすることができます。VPN には「PacketiX VPN」を使用するため、サポートする側の端末には「PacketiX VPN クライアント」を事前にインストールしておく必要があります。

本頁では「PacketiX VPN クライアント」のインストールと設定方法、および VPN 接続に際して必要となるメトリック設定について説明します。

【PacketiX VPN とは】

個人的・家庭的なネットワーク、中小企業のビジネス用のネットワーク、および大企業やインターネットサービスプロバイダなどが必要とする広帯域および高い負荷が発生する高度なネットワークなどのすべての範囲をカバーすることができる、安定性が高く拡張性および柔軟性に富んだ、次世代の VPN ソフトウェア。

(<https://www.softether.co.jp/en/vpn2/overview/about.aspx> より抜粋)

2.1 PacketiX VPN クライアントのインストール

1. SoftEther Corporation の PacketiX ダウンロードセンターから「PacketiX VPN Client」の**最新の RTM 版**をダウンロードし、exe ファイルをダブルクリック(実行)する

ダウンロードセンターURL:

<https://www.packetix-download.com/ja.aspx>

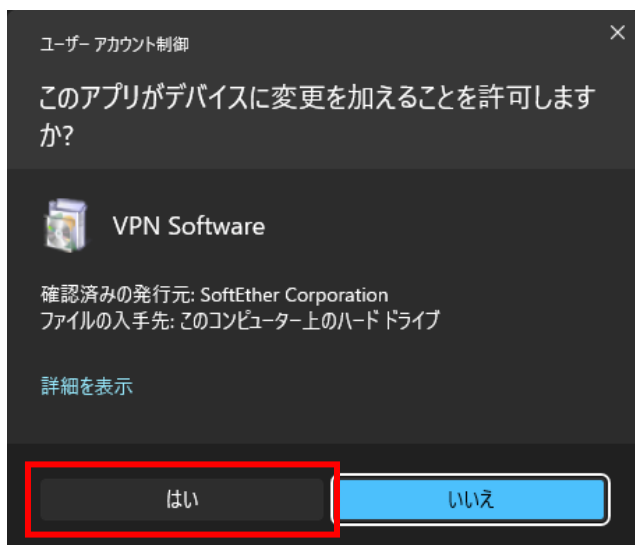
名前	更新日時	種類	サイズ
vpnclient-v4.42-9798-rtm-2023.06.30-windows-x86_x64-intel.exe	2024/06/03 11:11	アプリケーション	56,520 KB

※ファイル名はソフトウェアバージョンにより画像と異なる場合があります。

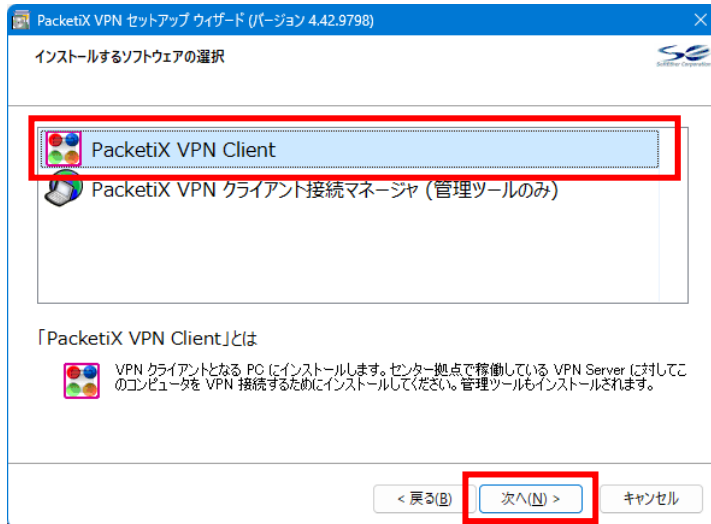
2. 「インストールの準備中」が表示された後、「PacketiX VPN セットアップウィザード」が表示されたら「次へ」をクリックする



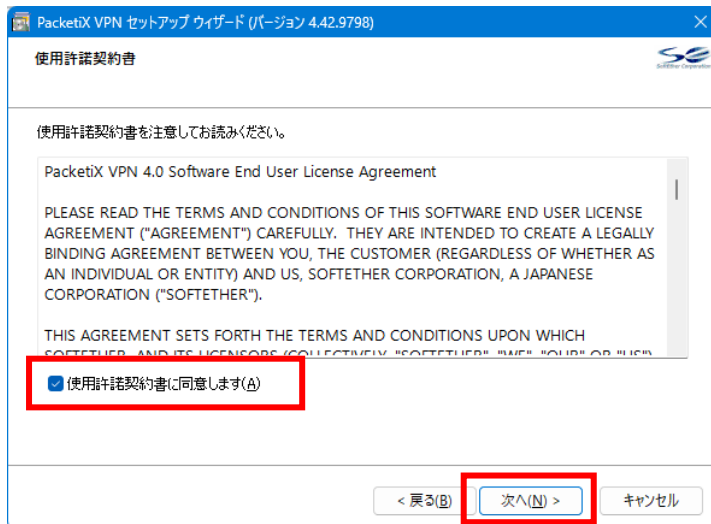
3. 「ユーザアカウント制御」が表示されたら、「はい」をクリックする



4. 「インストールするソフトウェアの選択」が表示されたら、「PacketiX VPN Client」を選択し、「次へ」をクリックする



5. 「使用許諾契約書」が表示されたら、内容を確認して「使用許諾契約書に同意します」にチェックを入れ、「次へ」をクリックする



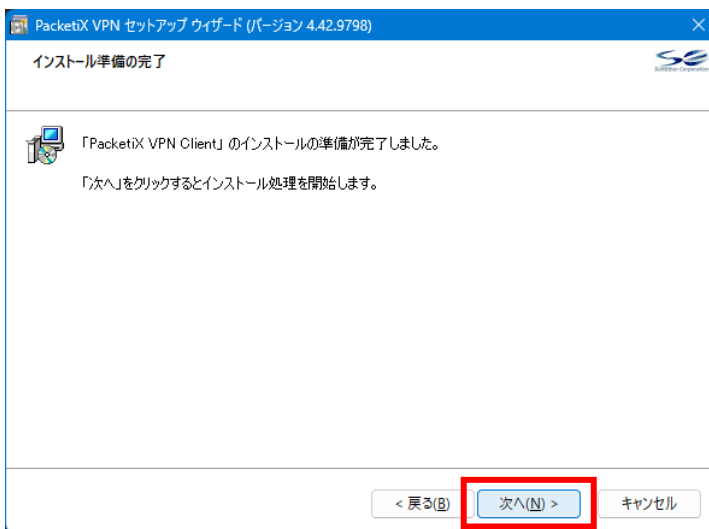
6. 「重要事項説明書」が表示されたら、内容を確認して「次へ」をクリックする



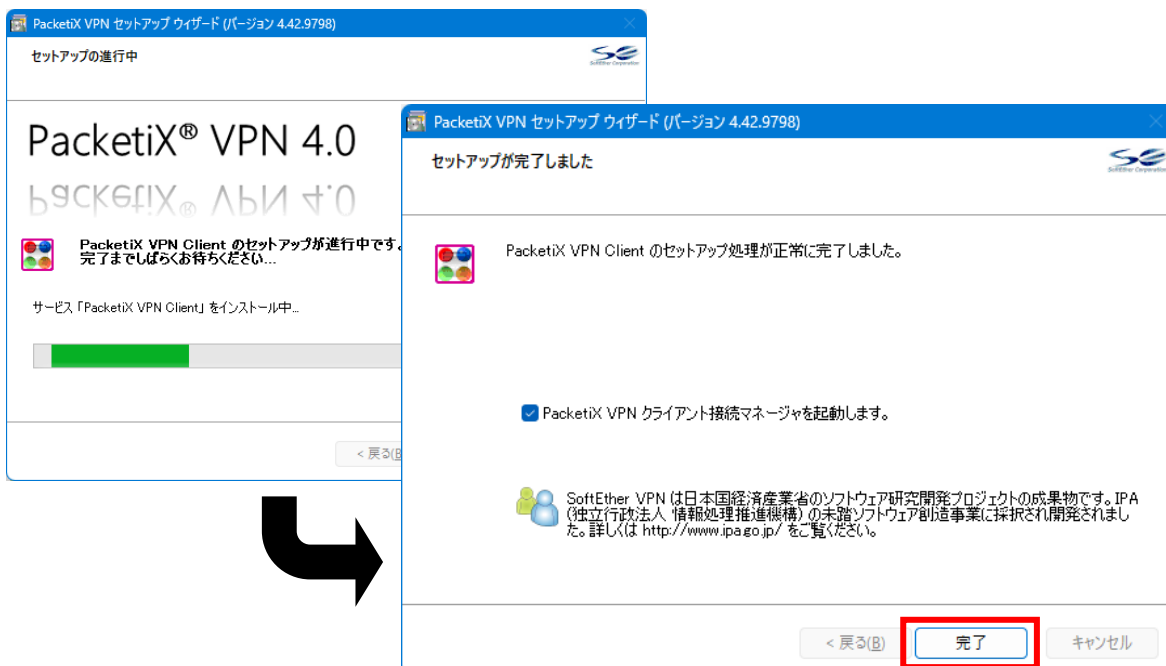
7. 「インストール先ディレクトリ」が表示されたら、「次へ」をクリックする



8. 「インストール準備の完了」が表示されたら、「次へ」をクリックする

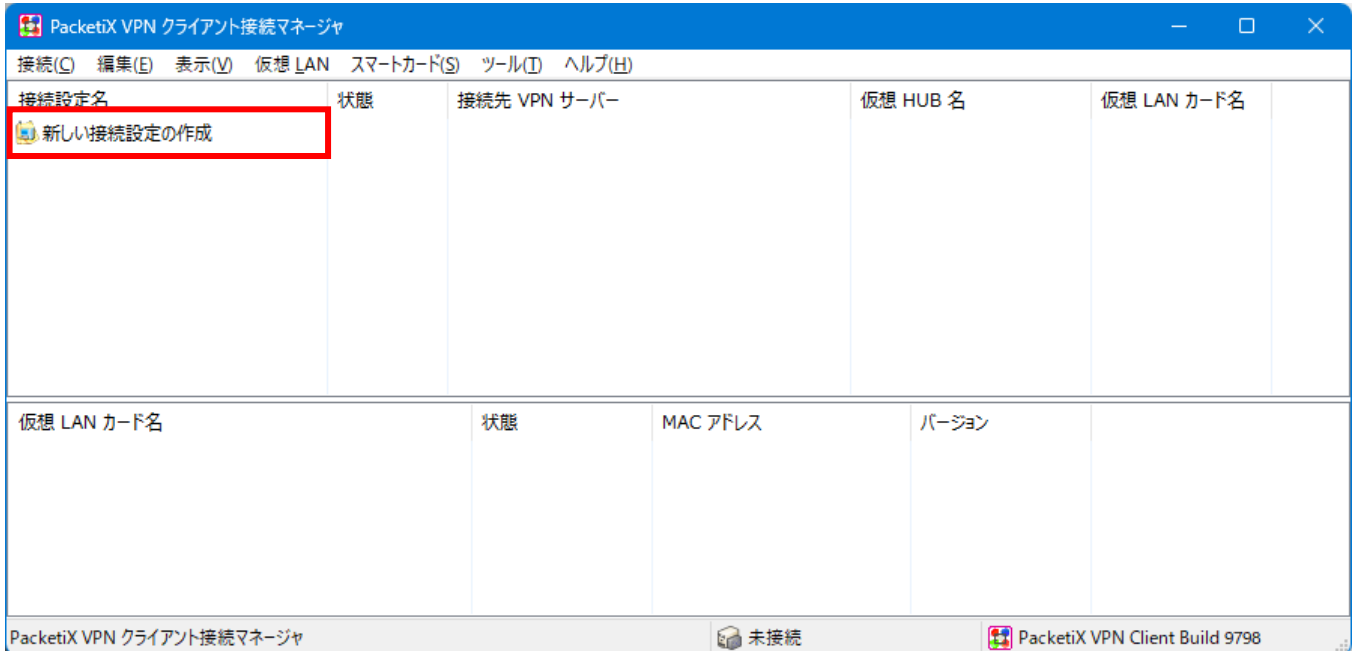


9. セットアップ後、「セットアップが完了しました」が表示されたら、「完了」をクリックする

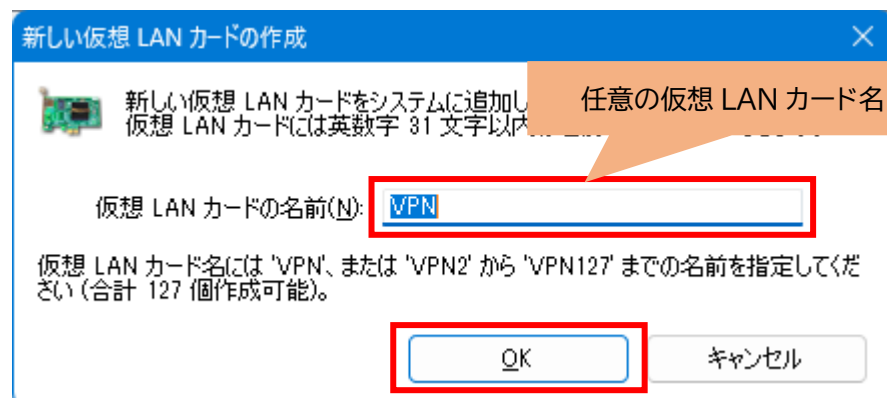
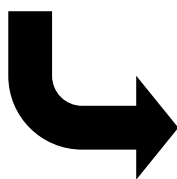
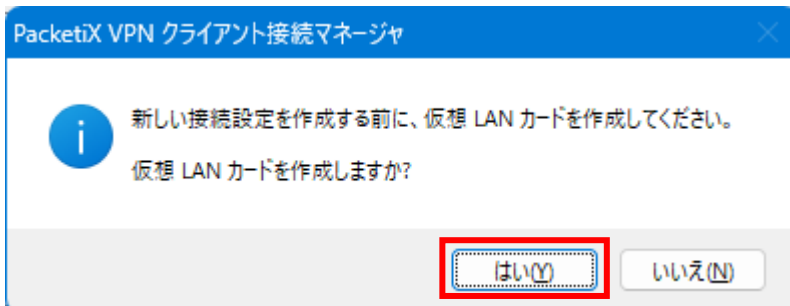


2.2 PacketiX VPN クライアント接続設定

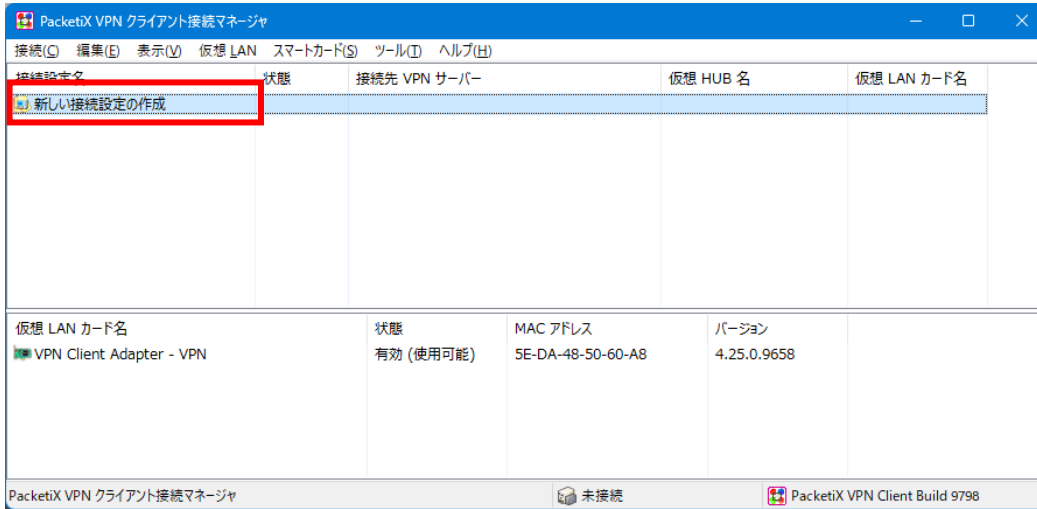
1. インストールした「PacketiX VPN クライアント接続マネージャ」を起動する
2. 「PacketiX VPN クライアント接続マネージャ」が起動したら、「新しい接続設定の作成」をダブルクリックする



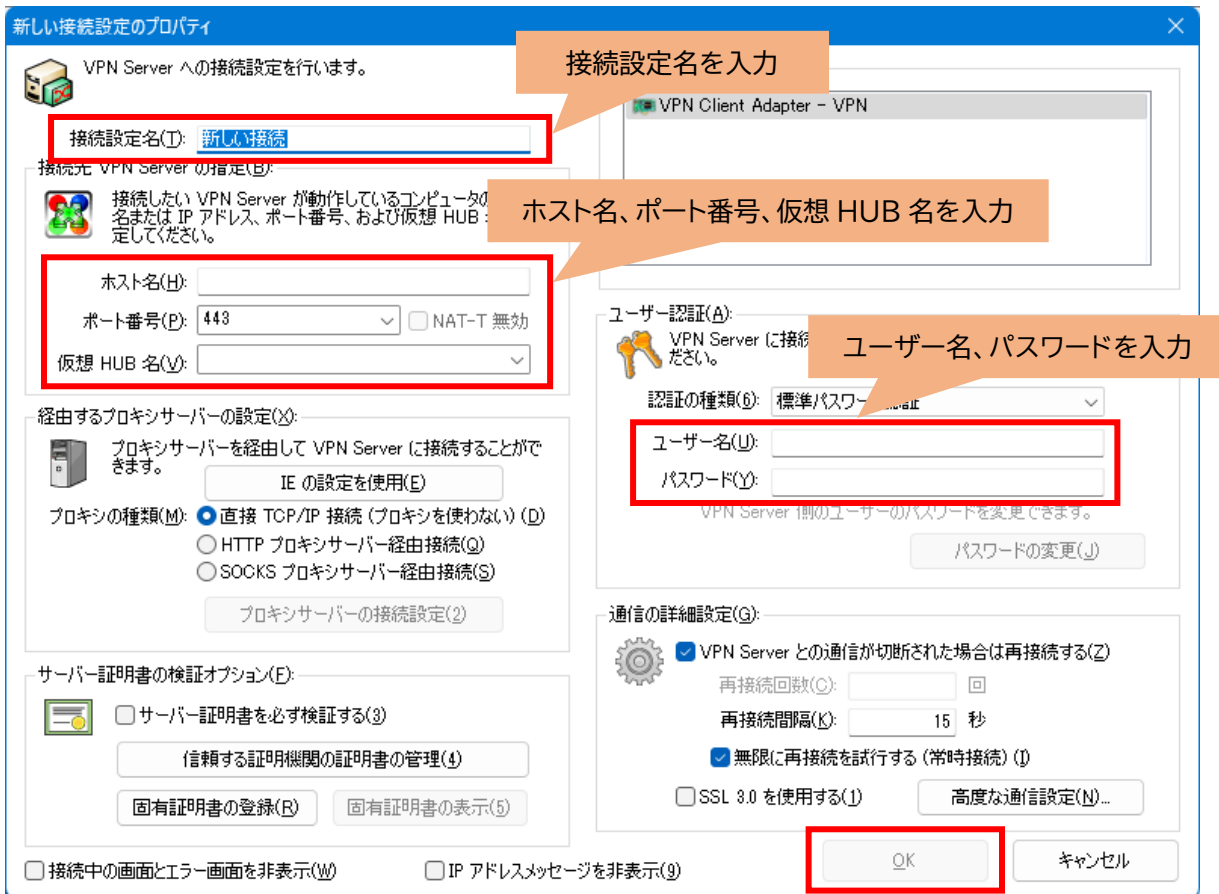
3. 「仮想 LAN カードを作成しますか?」で「はい」をクリックし任意の名前を付ける



4. 再度「新しい接続設定の作成」をダブルクリックする



5. 「新しい接続設定のプロパティ」が表示されたら以下の赤枠で示した項目を入力し、「OK」をクリックする



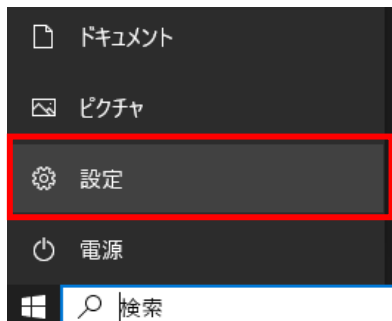
赤枠で示した入力欄には、以下の通り入力します。

項目	備考
接続設定名	任意の名称
ホスト名	本システムの「システム設定」-「リモートメンテナンス VPN」の「接続設定」に表示される内容
ポート番号	
仮想 HUB 名	
ユーザー名	
パスワード	

2.3 インターフェイスメトリック設定

この設定を行わないと、VPN 接続中の**すべての通信がリモートメンテナンス VPN を経由する**場合がありますので、**必ずインターフェイスメトリック設定を行ってください。**

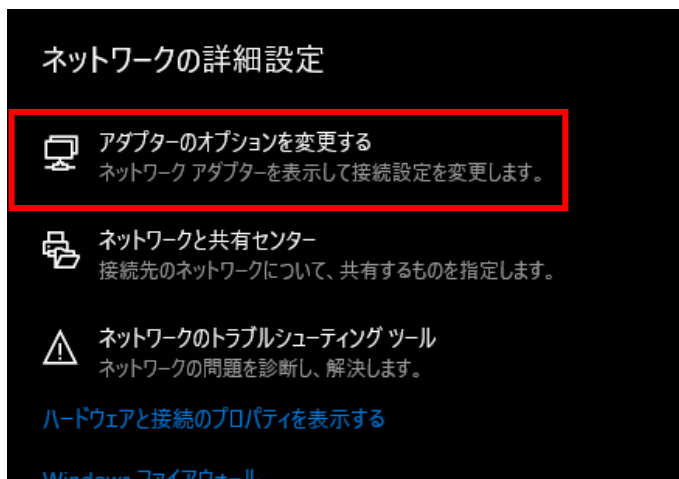
1. スタートメニューから「設定」をクリック



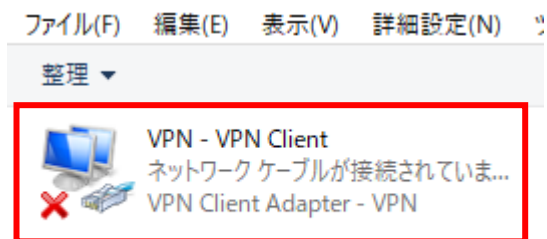
2. 「ネットワークとインターネット」をクリック



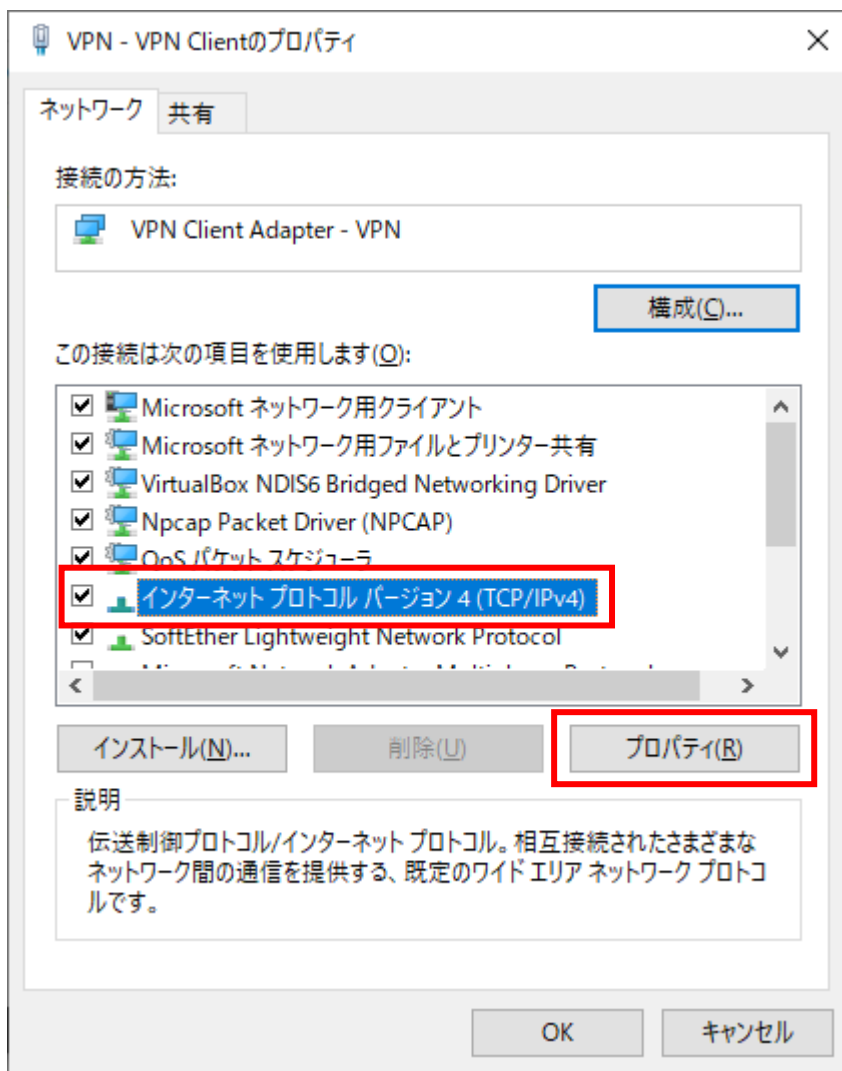
3. 「アダプターオプションを変更する」をクリック



4. 「VPN Client」を右クリックして、「プロパティ」をクリック



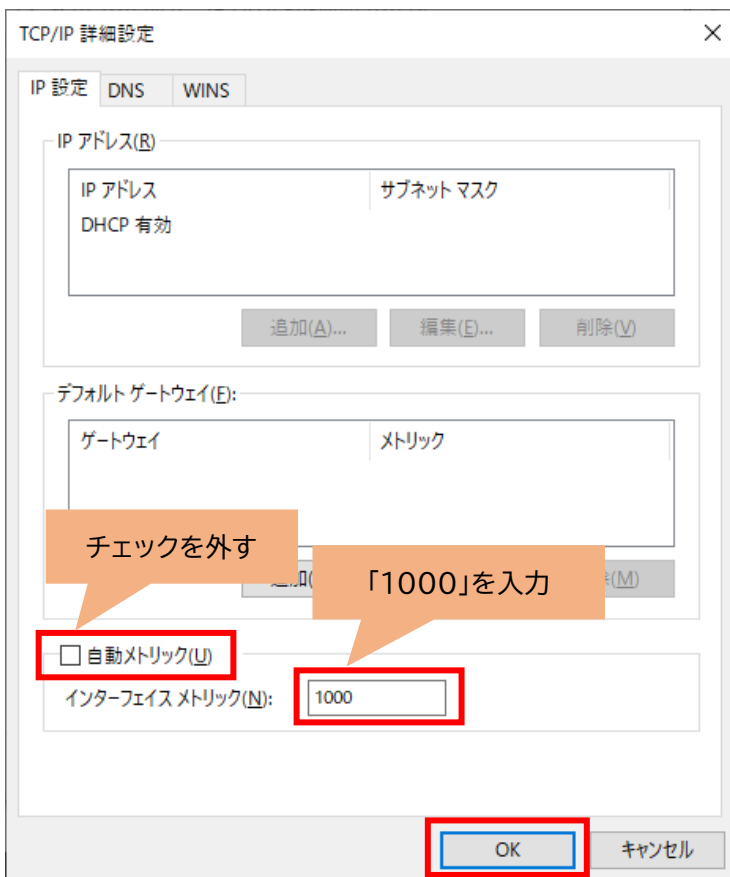
5. 「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択して、「プロパティ」をクリック



6. 「詳細設定」をクリックする



7. 「自動メトリック」のチェックを外し、インターフェイスメトリックに「1000」を入力して、「OK」をクリックする



2.4 IP アドレスの設定

本システムを設置したネットワークを固定 IP で運用している場合は、リモートメンテナンス端末の IP アドレスの設定が必要になります。DHCP で運用している場合は必要ありません。

2.4.1 DHCP で運用する場合

DHCP 環境で運用している場合は、VPN 接続時に自動的に IP アドレスが割り当てられますので、設定は不要です。

2.4.2 固定 IP を設定する場合

固定 IP を設定するためには、本システムで使用する IP アドレスを一つ用意してください。

1. インターフェイスメトリック設定の手順 1~6 に従い「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ」を表示する
2. 「次の IP アドレスを使う」を選択し、あらかじめ用意した IP アドレス、サブネット マスクを入力し、「OK」をクリックする

インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

IP アドレスを自動的に取得する(O)

次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 0 . 1

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ(D): . . .

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P): . . .

代替 DNS サーバー(A): . . .

終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(V)...

OK キャンセル

※デフォルトゲートウェイは空欄にしてください

3 トラブルシューティング

3.1 リモートから VPN に接続できない場合

本システムが設置されたネットワークアドレスと、PacketiX VPN を動作させる端末が設置されたネットワークアドレスが同一の場合 VPN 接続ができません。これらのネットワークアドレスが重複しないよう、あらかじめネットワーク設計をすることで回避する必要があります。

FSV-MGR01

リモートメンテナンスVPN 設定マニュアル

発行月: 2024年6月

発行:FXC 株式会社 東京都台東区浅草橋3-20-15 ミハマビル7F

本書の内容は予告なく改訂することがあります。

Copyright © FXC, Inc. All Rights Reserved.